

# 2023 年度 日本鳥学会ポスター賞募集要項

企画委員会

日本鳥学会は、これからの日本の鳥類学を担う若手会員の発表を奨励するため、日本鳥学会大会で優れたポスター発表を行った若手会員に日本鳥学会ポスター賞を授与する。

本賞の募集を下記のように行うので、積極的に応募されたい。

なお、新型コロナウイルス感染拡大によってオンライン開催になった場合、発表方法や審査方法に一部変更が生じる。変更が生じた場合は、大会ホームページにて随時告知する。

## 記

**対象者：**30歳以下（当該大会が行われる年の4月1日時点）の若手会員とし、かつポスター発表の筆頭発表者であり、日本鳥学会大会に参加し、発表をする者。過去に、ポスター賞、黒田賞、中村司奨励賞、内田奨学賞を受賞した者、および参加費免除による高校ポスター発表の発表者は、対象外である。なお、応募者は学会大会2023年9月16日（土）午前11時00分までにポスター会場に発表ポスターを掲示し、発表時にはポスター前にてプレゼンテーションをする必要がある。

**受賞者：**原則として「繁殖・生活史・個体群・群集」「行動・進化・形態・生理」「生態系管理/評価・保全・その他」の3部門においてそれぞれ最大1名。ただし応募状況次第では、企画委員会の判断で部門の再編・削減を行う可能性がある。

**表彰：**2023年度大会において賞状を授与する。副賞はない。

**応募の方法：**学会大会の一般講演要旨提出時に必要事項を記入する。

**応募締め切り：**学会大会の一般講演要旨提出締め切り日（2023年7月14日）。

**審査：**一次審査では、講演要旨およびポスターをもとに、企画委員会が依頼した審査委員が、研究のオリジナリティ、妥当性、学術的・社会的な重要性、研究テーマの将来性、ポスターのわかりやすさをもとに、二次審査対象ポスターを選考する。二次審査では、対象となったポスターのプレゼンテーションを、研究のオリジナリティ、妥当性、重要性、将来性、プレゼンテーションのわかりやすさをもとに評価する。ただし、ポスターの掲示期間が十分に取れないなど、大会スケジュールによっては二次審査を実施しない。評価をもとに、学会長に受賞候補者を推薦し、学会長が決定する。

**問い合わせ先：**企画委員会 委員長 佐藤望 宛

**電子メール送信先：** osj.kikaku+poster@gmail.com